

行政経営会議の内容

件 名	新大和市総合計画（第 10 次大和市総合計画）基本構想及び基本計画（素案）について
所 管 部	政策部
日時・場所	令和 6 年 8 月 26 日（月）9：30 ～ 10：15 研修室
出 席 者	市長、副市長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境施設農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり施設部長、議会事務局長、教育部長、消防長、総合計画担当課長
提 出 理 由	新大和市総合計画（第 10 次大和市総合計画）基本構想及び基本計画を策定するにあたり、素案の内容について了承を得るため
会議経過	【主な意見等】 ・やまと軸上の 2 つの森についてはこれまで保全ありきの考え方であったが、土地利用の方向の記載の中で保全から活用へと表現が変わっている。そもそも土地の高度利用を図るやまと軸上にあることを踏まえれば、適切な変更であると考ええる。この件に関してこれまでのタウンミーティングで具体的な意見は出ていたか。 （所管部）やまと軸上の森に限定した意見は特段ないが、市内全体の豊かな緑を確保してほしいという観点では意見が出ていた。 ・幸せは人それぞれの価値観で決まるものである。市民の幸福度を捉える調査や市民の意見を聴く取り組みはこれまで多く実施しているが、これらの結果を行政内に取り入れる仕組みはどうしていく考えか。 （所管部）市民の幸福度と市の施策を直接関連づけることは難しいと考えている。幸福度調査などで得られた結果で可視化した幸福に関する市民の意識と市の施策に対する市民の意識などをクロス分析するなどして、市民にとってより良い施策の推進につなげていきたい。 ・行政経営の方針の中で、マネジメントサイクルを効果的に運用するとあり、これまでもスクラップ＆ビルドを実践してきたと思う。持続可能な財政運営を考えると、さらに一步踏み込んだスクラップに目を向けることも必要と考えるが、そういった方向性はあるか。 （所管部）合理的な根拠に基づく事業の見直しや効果的なマネジメントサイクルを進めるためには、現在実施している事務事業評価をはじめ、EBPM を踏まえた取り組みに目を向けていかなければならないと考えている。 ・市民が新しい総合計画を見た際に、変わった部分、目玉となる部分がしっかりと伝わるように意識して今後の作業を進めてもらいたい。 （所管部）将来都市像実現に向けた目標の 1 「いつまでもみんなが元気でいられるまち」や目標の 5 「にぎわいを生み出すまち」は市長の強い思い入れのある分野であり、柱になると考える。計画書の策定に向けては、より分かりやすい表現等に努めていきたい。 ・議会には、議決を受ける部分は基本構想だということをしっかりと伝えたい。説明を行うようにしてもらいたい。 ・各部においては、総合計画が市の最上位の計画であること、また、様々なつながりを重視した内容であることを意識し、市民生活に直結する個別計画の見直しを行うようにしてもらいたい。また、計画の考え方をしっかりと理解するようにしてもらいたい。
会議結果	案のとおり、進めていく。